

Yamazawaismに見る環境への原点回帰！

山澤清さんの“魅力”をファシリテーター佐藤隆也氏が引き出します。

“未来の子供たちに負の遺産を残さない”という強い思いから「無農薬地域循環型農業」を確立し、徹底して安心・安全にこだわり手づくりの化粧品を作り続ける山澤清氏。

“答えは先端の女性の中にある”、“オレは常に未来を抱いて生きてっから”という、今と未来を見据えた事業への取り組みを佐藤隆也氏との対談で紹介します。

ハーブ研究所スパール 代表

山澤清氏

1947年村山市生まれ。学校卒業後、農業エンジニアとなり、農業用大型機械、農薬による農業技術指導を行う。1977年、「日本の農業」、「食のあり方」に疑問を抱き、農業エンジニアを辞する。1980年、「地域循環型有機栽培農法の確立」をコンセプトに「ハーブ研究所スパール」を設立。1993年、ベルギーから1,300羽の食用鳩を取り寄せ、鳩には自身のハーブを餌に与え、その糞を畑に与える無農薬地域循環型農業を確立する。日本初となる、国産ローズヒップの基礎化粧品シリーズ、国産黄カラスウリの基礎化粧品シリーズ発表。2014年、農事組合法人大日本伝承野菜研究所立上げ。伝承野菜栽培を始める。2017年、株式会社庄内パラディーゾの代表取締役となり、伝承野菜とハーブのレストラン「土遊農」開業。

東北公益文科大学 特任教授 キャリア開発センター長

佐藤隆也氏

1953年鶴岡市生まれ。東北公益文科大学大学院公益学研究科修了。学習院大学法学部卒業。斎藤経営コンサルタント事務所勤務、有限会社酒田木村屋勤務、山形県立産業技術短期大学校庄内校国際経営科准教授を経て東北公益文科大学特任教授となる。研究分野は、ピーター・ドラッカーの経営学的思想。マーケティング、特に顧客満足。店舗運営、特に接客及び品揃え等。研究テーマとして、ピーター・ドラッカー経営学的思想と松下幸之助経営思想について。論文・作品として「顧客満足に関する一考察」『庄内地域におけるCSR（企業の社会的責任）活動に関する調査研究』東北公益文科大学大学院 2006。研究著書として国内会議発表「地方都市における商品開発とマーケティングー山形県庄内地方を事例として」等がある。

参加申込書

申込日 / 2017年 月 日

会社・事業所	会社・団体 事業所名	所在地 〒
	申込に関する 担当者	所属部署 氏名
	E-mailアドレス	TEL - - FAX -
		講座・セミナー等のお知らせ メールの配信を希望しますか？（希望する・希望しない・登録済）

▼参加ご希望のものを○で囲んでください。交流会参加費3,500円は当日受付で申し受けます。

参加者	氏名	フリガナ	性別		年齢	所属部署・職名等
			男	女		
1	フォーラム 交流会				歳	
2	フォーラム 交流会				歳	
3	フォーラム 交流会				歳	

【個人情報の取扱について】 申込書にご記入いただいた情報は、お申し込みされた講座を受講していただくために必要な事務連絡等に使用するとともに、参加者名簿（記録用・講師用）作成及び今後の庄内地域産業振興センターからのセミナー情報の提供に使用させていただきます。また、「法令等で要求された場合」を除き、第三者に開示・提供いたしません。

申込書枠内にもれなくご記入のうえ、FAXでお申し込みください。

FAX 0235-23-3615

●送信先 (公財)庄内地域産業振興センター 山形県鶴岡市末広町3番1号 TEL.0235-23-2200(代)